

資料室

2024 年度自由学園資料室の活動

菅原 然子

自由学園資料室は、創立 80 周年時に発刊された『自由学園80年小史』の編集資料をはじめとした歴史資料の適切な保存と活用を目指し、2002 年に開室した。22 年目を迎え、今年度より『自由学園年報』にその年の活動の概要を記録することとする。

2002 年の開室以来、自由学園資料室は現存する学園関連の資料の収集、整理・編成、保存、管理、利活用を行ってきた。特に、2021 年の創立 100 周年に際しては、記念事業としての『自由学園一〇〇年史』の編纂とデジタルアーカイブ(DA)「自由学園 100 年+」の構築・開設に携わった。今年度はそれらの蓄積を、特に学内の児童・生徒・学生へ還元することを目的に、授業等にもかかわった。以下、活動を分野別に記述する。

1. 授業・講義

1-1.TLP「自由学園を知る」(中等部・高等部)

中等部 1 年(週1時間 必修 3 クラス) を村上、菅原、高等部 1 年(週1時間 必修 3 クラス)を村上が担当した。4 月の第一回を更科学園長と TLP 教科部長松坂が担当し、2 回目より 31 回目までの授業を上記室員が受け持った。

内容は、創立者羽仁もと子・吉一の誕生から青年期、二人の出会いと結婚、雑誌の出版事業の開始から始め、自由学園の創立、戦中戦後、創立者の死、第二代学園長時代、第三代学園長時代以降から現在までを扱った。

各時代に関する一次資料を積極的に活用し、授業内で生徒たちに実物を見てもらうことを意識した。主な資料は以下である。

- A.羽仁もと子「思想しつつ 生活しつつ 祈りつつ」の書
- B.『家庭之友』『婦人之友』『子供之友』バックナンバー
- C.国井俊子「あざみの絵」2点(自由画教育)
- D.関東大震災支援活動記録「絵巻」
- E.羽仁吉一直筆原稿(「自由の名」)
- F.創立者礼拝内容速記ノート
- G.創立者の声を聞く(音声データ)
- H.各種古写真 等

また、DA「自由学園 100 年+」を授業内でプロジェクトを利用して見せる実践を行った。自由に活用する段階までは達していない生徒もいるが、中等部、高等部それぞれの初年段階に『自由学園一〇〇年史』と DA を紹介することにより、自分の学校に関する疑問について、調べられるツールがあることを知ってもらおうという目的は達成できたのではないかな。なお、『自由学園一〇〇年史』は、毎時間一人 1 冊を配布し(授業用 30 冊を利用)利用した。

年度末には、1 年間 TLP で学んだことの中から各自テーマを選び、「TLP 新聞」にまとめる実践をした。A3 用紙 1 枚に、感想も含め内容を書いた。年度末にはクラスで推薦された人の新聞を図書館掲示板に展示した。

※詳細は同号47頁「TLP」参照

1-2.最高学部 of 講義

村上が最高学部 of 以下の講義を担当した。

- ◆生活経営研究実習 図書記録資料グループ(1、2 年選択必修:通年、指導は図書館・資料室スタッフで担当)
図書館学概論、図書館実習、記録資料学実習(2024 年度は実習中心で展開し、記録資料学概論は実施せず)
- ◆自由学原論(2 年必修:オムニバス形式で 5 回担当)
 - ・羽仁もと子における「人生と自由」
 - ・自由学園の自由をとらえなおす
 - ・創立者最晩年の礼拝記録から考える
 - ・戦没学徒・川田文子さんの記録と記憶はどのように継承されてきたか
 - ・被団協、2024 年ノーベル平和賞受賞から学ぶ
- ◆ネイバーフッドデザイン(1 年必修:オムニバス形式で 1 回担当)
 - ・自由学園とまちの関わり 「学校から社会へ」のこれまでとこれから

- ◆生活芸術基礎(1年必修:オムニバス形式で1回担当)
- ・自由学園の芸術教育とその展開
- ◆二年課程卒業勉強、四年課程卒業研究で指導・副査

1-3. 初等部「戦時中の初等部」

2024年9月18日初等部6年生5時間目社会科の授業で、菅原が「戦時下の初等部」をテーマにお話をした。6年生の社会科では日本史を勉強しており、その一環で担当の清水夏希先生より依頼をいただいた。

当日は戦時中の初等部児童の学童集団疎開について、当時の児童が終戦後に描いた絵巻などの画像、一次資料として当時の教師の日誌の現物などを見せながら授業をした。授業の感想には以下のようなものがあった。「(話を聞いて)コワイな〜とか、終わりがわからないって大変だな、うそを書くのってつらいな、と思った」「授業の最初は興味なかったがどんどん聞くほどびっくりしておもしろかった」「約80年前の六年生とは生活が全くちがいで、ぼくのように落ちついて日記を書いている場合ではなかったのだなと感じました」(6年生の日記より)。



初等部6年生社会科「戦時下の初等部」

後日、6年生児童1名がより詳しい内容を調べることを希望したので、図書館中教室にて疎開絵巻の実物を展示し、見せた。この日は中等部高等部の共生学で「平和を考えるー戦争の歴史を学び、伝えるー」を選択した生徒たちも絵巻を見た。

1-4. 共生学(中・高)

共生学のうち2つのグループに対して、村上が一部の授業を担当した。

- ◆「平和を考えるー戦争の歴史を学び、伝える」(担当:竹

上尚子、属希美)での授業(2回)

- ・山澤遥乃さん、山澤綾乃さん(学部3年生)による「川田文子さんのこと」の特別授業にあわせて、「ちょっぴり解説〜“自分で”調べる・まとめるためのヒント」として、戦時中の自由学園キャンパスの様子や、記録資料の調べ方・読み方を解説

- ・「戦時中の自由学園の記録資料を読んでみよう!」として、『川田文子さんのこと』の朗読ワークショップと、様々な記録を実際に読んでみる練習を行った。

これらの経験をもとに、戦時中の食事に関する記録を読み解き、まなコレでポスター発表を行った生徒もあった。

- ◆「世界に一つだけの図書館づくり」(担当:近藤紫織、齋藤凜太郎)での授業(1回)

- ・自由学園の図書館・資料室の成り立ちや歴史的経緯について、関連の記録資料の実物を展示しながら解説した。

2. 展示

2-1. 自由学園あれこれ(月替わりカウンター前展示)

今年度4月より、図書館カウンター前に展示用ガラスケースを設置し、掲示板も使って月替わりで学園関連資料を展示した。これは、書庫4階に保管してあったガラスケースを見つけた菅原が思いつきで始めたものだったが、10月からは学部の図書記録グループの学生がやりたいと手を挙げてくれたので一緒に行うことができた。各月のテーマは以下。

- 4月 開校式
- 5月 服装
- 6月 遠足
- 7月 夏休み
- 9月 関東大震災
- 10月 体操会
- 11月 この字誰の字?(羽仁もと子、吉一、説子、恵子)
- 12月 クリスマス
- 1, 2月 清風寮、東天寮

テーマを決めてから、資料室の目録検索システム上にて該当する資料を集め、その中から展示するものを選定した。写真は画像をプリントし、掲示板に貼った。

アーキビストの重要な仕事の一つは、資料の利活用の促進である。展示はそのための方法としては筆頭に挙げられる。今後も資料を適切な形で生徒学生に公開できるよう整備していきたい。

2-2.体操会での展示

24 年度の体操会では、最高学部 2 年生のうち、生活経営実習で図書・記録資料を選択した学生が展示をした。「史料・手具から見る 体操会の歩み」と題し、過去の運動会、体操会の写真やチケット、プログラムなどの紙資料、体操服や手具などのモノ資料、過去の記録映像などを展示した。当日は天気にも恵まれ、多くのお客様にみていただくことができた。

資料室員は準備や当日会場に立つなどの後方支援をした。自分たちが親しんできた行事について、記録資料を通して歴史を知ることができるのは、資料が残っている学校ならではの試みと言えるだろう。

2-3.JIYU1123での展示

11 月 23 日には 100 周年記念募金委員会主催のイベント「JIYU1123」が学園を会場に行われた。生活経営研究実習で図書・記録資料を選択した最高学部 1 年生が「記録資料でたどる地域社会と自由学園一〇〇年 東久留米地域を中心に」と題して展示を行った。普段学園史展示コーナーとしている図書館内のスペースを使い、一次資料をふんだんに展示、また「久留米村全図(昭和 2 年)」の複製(堀内カラ)も初めて公開した。

羽仁夫妻が 1925 年に北多摩郡久留米村に土地を購入してから 100 年がたつが、学園は地元の方々に受け入れていただいたことで、この地において教育活動を実施することができてきた。羽仁もと子は久留米村の人々との交流を願って、この地に「自由学園農村セトルメント」を開設、主に女性や子どもへの働きかけを通じて互いの友情を築いた。また、婦人之友社が学園町の土地を分譲し、主に『婦人之友』読者が土地を購入した。こうしたことに関連する資料を展示し、パネルなども作って工夫をした。

当日は約 400 人の方が展示を見てくださった。

資料室員は体操会の時と同様、後方支援にまわった。

2-4.公開授業での学園関連資料展示、学内への周知

2025 年 1 月 25 日に行われた中等部高等部の公開授業では、高1の2クラスでTLPの授業を行った。その際、担当の村上が、今年度 4 月からの TLP「自由学園を知る」で見せてきた学園の歴史にかかわる一次資料から十数点を選び、図書館 2 階の閲覧室机に展示をした。当日は保護者

の方にも見ていただくことができ、その前後には all メールで学内に周知したところ、10 人弱の教職員および初等部 6 年生児童が全員見学に来た。羽仁もと子、吉一の直筆原稿、1923 年関東大震災での救援活動を生徒が描いた絵巻、戦病死した男子部卒業生の遺影、最高学部設立の構想を書いた吉一のノートなど、限られたスペースだったが種類は豊富な展示ができた。

また、学内に周知することで教職員や児童にもみていただく機会を得た。実物を見ることで、TLP以外の授業での利活用にもつなげたい。また、初等部児童にも、今後ぜひ資料に触れる機会を提供していきたい。

2-5.『家事家計篇』台割 2 点の修復

将来の展示を見越して、今年度発見された『羽仁もと子著作集第九巻 家事家計篇』の台割(編集作業上重要な書類。羽仁吉一の筆跡で各タイトル等の明記あり)について修復を発注した。次年度友の会大会で関連資料と共に展示を目指す。

3. リファレンス

24 年度のリファレンス件数は 35 件であった。主に

- ・出版物などへの写真掲載
- ・修士論文等の研究活動での一次資料閲覧希望
- ・テレビ番組での過去の記録映像資料利用希望
- ・親族が在学していたかの確認
- ・学内記録物作成フォーマットの相談

等の依頼が多かった。
(詳細は表1)

4. デジタルアーカイブ

2021 年に開設したデジタルアーカイブ「自由学園 100 年+」は、年表事項の追加・修正を行った。

また、ジャパンサーチ連携の作業は引き続き行い、今後の連携の実現を目指している。

5. 発表・講師等の活動

5-1. 学内

- ・4 月の新入教職員の会にて、『自由学園一〇〇年史』を 1 人に 1 冊寄贈すると共に、学園の歴史について村上が話した。
- ・4 月 15 日創立記念日に新講堂にて記録映画「生活即教

育」(1931 年)を村上の解説で見せた。

・高等部職員会議にて、「委員」「体操会」の歴史に関するレクチャーを村上が行った。いずれも部長からの依頼による。

5-2. 学外

・前年度に引き続き、企業史料協議会からの依頼により菅原が同会主催「デジタル資料管理講座」の講師を担った。

6. 執筆

6-1. 入学希望者用パンフレット

広報室の依頼により、2025 年度入学希望者用パンフレットに「自由学園 創立者について」(見開き 2 ページ)を村上が執筆した。創立者羽仁もと子・吉一について、自由学園創立の経緯、何を目指しての学校設立だったのかを内容とした。

6-2. 『日本教育史往来』での書評とリプライ

主に教育史関連の研究者に読まれている『日本教育史往来』269 号に、中嶋みさき氏による『自由学園一〇〇年史』の書評が掲載された。その評に応える形で村上が寄稿、同 273 号に掲載された。

6-3. 『図書館雑誌』

編集部からの依頼により、『図書館雑誌』に DA「自由学園 100 年+」に関する記事を菅原が執筆した。図書館雑誌編集委員である長谷川優子氏に企業史料協議会理事の松崎裕子氏が当資料室を推薦くださったことが執筆につながった。

7. 自由学園リポジトリ関連

自由学園の学術研究結果を学内外へ周知することを目指し、2023 年度に自由学園リポジトリ委員会が組織された。資料室は『生活大学研究』編集事務局および『年報』編集を担った。

年報は 26 号(2021、2022 年)に続き、27 号(2023 年)の編集を行った。HP での PDF 公開を基本とし、冊子体は図書館収蔵の 1 冊と資料室保存の 1 冊の合計 2 冊を資料室で作成した。PDF ファイルの HP へのアップは学園長室の協力を得た。

6. 羽仁先生記念館

1929 年に建てられた羽仁夫妻の居宅は、1950 年代の増築を経て現在も同じ場所に建っている。遠藤新による設計、戦後の増築は息子の遠藤陶による。現在は建物の老朽化や耐震化の遅れ等からほとんど活用が行われていないが、将来的な活用を見据えて、室内の資料の所蔵調査および一部書籍の防虫・防カビ処置を行った。この作業は次年度以降も継続する予定である。

なお、耐震等を含め、CM 室と共同で今後の保存利活用についての検討準備を開始した。

7. 終わりに

組織構成員が自身の属する組織の歴史を知り、創立理念を共有することで、社会変化にも柔軟に対応しつつ独自色が出せることは、特に近年企業や大学など多種類の組織で明らかになっている。学園資料室も、組織構成員に資料を提供することや、収蔵資料から明らかになったことを共有することで、その目的達成に貢献することを目指している。また、学内のみならず、学外からの資料利用希望者に対するリファレンスは、『年報』、『生活大学研究』の編集、デジタルアーカイブの運用も含め、すべて学術的な学校広報として捉えることができる。

教育機関の活動成果である学術情報を継続的に広く公開していくことは、学園としての社会的責任を果たし、ひいては教育機関としての信用度を高めることにつながる。今後も自由学園の組織アーカイブズとして、学内外に役立つ活動を推進していきたい。

表1. 2024 年度自由学園資料室活動報告(一部省略)

4 月 1 日	新任職員の集いにて、学園の歴史等の紹介「自由学園を知る」をたのしむーアーカイブズ・歴史・そしてこれからー
4 月 3 日	羽仁両先生記念館保存・整備に関する起案作成
4 月 8 日	中高等部お料理授業記録相談
4 月 12 日	入学式集合写真マネジメント
4 月 12 日	学内リファレンス(写真提供 学園行事)
4 月 15 日	創立記念日、礼拝後に中高大向けに学園の歴史紹介「記録映画「生活即教育」(1931 年)」を題材に
4 月 20 日	日本アーカイブズ学会研究大会参加(傍聴)
4 月 20 日	広報室より発行の自由学園受験者向けパンフレット(2025 年度版)中、「自由学園 創立者について」作成
4 月 24 日	学内リファレンス(校歌関連)
5 月 8 日	学外リファレンス(資料調査 本郷新)
5 月 9 日	学外リファレンス(資料調査 武蔵野鉄道関連)
5 月 16 日	学部授業「ネイバーフッドデザイン」第 3 回 資料室員スポット講義「自由学園とまちの関わりー学校から社会へ」これまでとこれからー
5 月 16 日	学外リファレンス(資料提供 卒業生関連)
5 月 18 日	板橋区教育委員会文化講座「宇宙線と手仕事と」(和田雅美先生資料提供 傍聴)
5 月 20 日	学内リファレンス(資料貸出 探求)
5 月 21 日	学内リファレンス(資料貸出 音楽教育)
5 月 22 日	羽仁両先生記念館保存関連打ち合わせ
5 月 23 日	学内リファレンス(資料閲覧 日番報告書)
5 月 31 日	学外リファレンス(写真調査 遠足)
6 月 6 日	学外リファレンス(資料提供 ライト)
6 月 7 日	『羽仁もと子著作集第九巻 家事家計篇』編纂資料修復発注
6 月 12 日	取材協力 NHK スペシャル「シリーズ 新・ドキュメント太平洋戦争」
6 月 15 日	『生活大学研究 第 9 巻 1 号』編集作業終了
6 月 16 日	学外リファレンス(写真 戦争)
6 月 17 日	学外リファレンス(取材 戦争)
6 月 19 日	学外リファレンス(資料閲覧 学園新聞他)
6 月 23 日	春日部市男女共同参画推進センター主催「関東大震災からまもなく 101 年」(資料提供 傍聴)
6 月 26 日	『川田文子さんのこと』増刷(4 刷)
6 月 26 日	関連団体リファレンス(婦人之友社 戦争)
7 月 3 日	TLP 校外学習「明日館見学」引率(中等部 1 年)
7 月 10 日	学外リファレンス(資料調査 卒業生他)
7 月 10 日	明星学園創立 100 周年記念シンポジウム 2024「大正自由教育の現在、そして未来」(高橋和也学部長シンポジストとして参加 室員傍聴)
7 月 11 日	TLP 校外学習「明日館見学」引率(高等部 1 年)
7 月 12 日	学外リファレンス(資料提供 写真 発電所)
7 月 13 日	リビングアカデミー「みんなの日」教養講座「若き日の羽仁夫妻の歩みと自由学園の教育」資料室員講師
7 月 23 日	初等部「2024 年度 夏@明日館ミーティング」参加
7 月 27 日	市民アーカイブ多摩「第 10 期緑蔭トーク」(山澤遥乃さん、綾乃さん参加「川田文子さんのこと」を作って)参加
8 月 14 日	学外リファレンス(資料提供 戦争)
8 月 20 日	学外リファレンス(資料調査 北京)
8 月 24、25 日	第 54 回空襲・戦災を記録する会静岡大会に参加(学生 2 名が研究発表)
8 月 31 日	高等部職員会議にて話「委員会」再考のためのヒント〜「委員会」×「自分の生(いのち)の経営」の可能性〜

- 9 月 5 日 学外リファレンス(写真提供 航空写真)
9 月 7 日 関連団体リファレンス(南沢会 地方報告会)
9 月 11 日 学外リファレンス(写真提供 明日館)
9 月 12 日 学外リファレンス(写真・資料提供 デンマーク体操)
9 月 18 日 初等部 6 年生社会科授業「戦時下の初等部」にて話す
9 月 26 日 学外リファレンス(資料提供 日中関係)
10 月 2 日 高等部職員会議にて話「自由学園の体操会の歴史的経緯から身体(からだ)の教育を再考する」
10 月 2 日～3 日 全国大学史資料協議会 2024 年度総会・全国研究会参加
10 月 12 日 体操会撮影アテンド
10 月 21 日 学内リファレンス(資料提供 卒業生夏期学校)
11 月 1 日、2 日 デジタルアーカイブ学会 第 9 回研究大会(発表「私立学校におけるデジタルアーカイブの活用:自由学園の歴史を DA「自由学園 100 年+」で学ぶ」)
11 月 11 日 学外リファレンス(デジタルアーカイブ関連)
11 月 23 日 「JIYU1123」にて展示「記録資料でたどる地域社会と自由学園の一〇〇年—東久留米地域を中心に—」 最高学部 1 年生との協働開催(地図資料 1 点デジタル化および複製作成発注)
11 月 24 日 羽仁両先生記念館 2 階所蔵調査および資料保存方針案(暫定)作成
11 月 26 日 学外リファレンス(資料提供 美術教育)
11 月 26 日 学内リファレンス(写真提供 平和週間)
12 月 10 日～ 学内資料移管(中等部理科)相談・作業
12 月 11 日 中高等部 共生学「平和を考える」にて「ちよびり解説～“自分で”調べる・まとめるためのヒント」講義
12 月 20 日 午餐会で話す(昔の午餐会等)
12 月 31 日 村上民著『自由学園 100 年史』-「つくる」から「つかう」へ- 掲載紙『日本教育史往来』273 号(日本教育史研究会) 発行
(2025 年)
1 月 8 日 学外リファレンス(写真提供 建築)
1 月 10 日 関連団体リファレンス(友の会 友の新聞)
1 月 15 日 中高等部共生学「平和を考える」にて「戦時中の自由学園の記録資料を読んでみよう!」講義
1 月 20 日 学内リファレンス(写真提供 創立者)
1 月 20 日 学外リファレンス(資料提供 戦争)
1 月 25 日 学外リファレンス(資料提供 学園新聞)
1 月 25 日 学外リファレンス(写真提供 学園町)
1 月 27 日 関連団体リファレンス(明日館 生活即教育)
2 月 5 日 学外リファレンス(掲載物校正 100 年史)
2 月 6 日 学外リファレンス(資料照会 在学記録)
2 月 19 日 第 2 回自由学園リポジトリ運営委員会(DA のジャパンサーチ連携についての承認)
2 月 26 日 学内リファレンス(写真提供 戦争)
2 月 27 日 学内リファレンス(写真提供 寮)
3 月 7 日 学外リファレンス(写真提供 音楽教育)
3 月 4 日 労働科学研究所研修「デジタルアーカイブの構築と活用」講義
3 月 9 日 卒業式記念写真マネジメント
3 月 14 日 日本図書館文化史研究会 2024 年度第 3 回研究会「自由学園教育と図書館・アーカイブズ—その歩みと現在—」にて講義と資料展示(会場:自由学園図書館)
3 月 28 日 学内リファレンス(資料提供 学びの共有会)